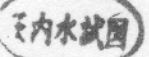


北浦の河川にワカサギ分布



北浦に流入する巴川において魚類調査を行ったところワカサギがまとまって採捕されたのでお知らせします。調査日は8月29日、調査場所は小川町の下吉影から銚田町の河口にかけての5点（図1）、捕獲方法は投網（39節）です。

ワカサギが採捕されたのは河口付近の銚田町串挽の北浦橋及び巴川橋の2点のみで、これより上流では確認されませんでした。北浦橋及び巴川橋の投網1回当たりのワカサギ採捕尾数は約90尾（約130g）で、他の魚はブルーギル稚魚が1尾混獲されたのみでした。

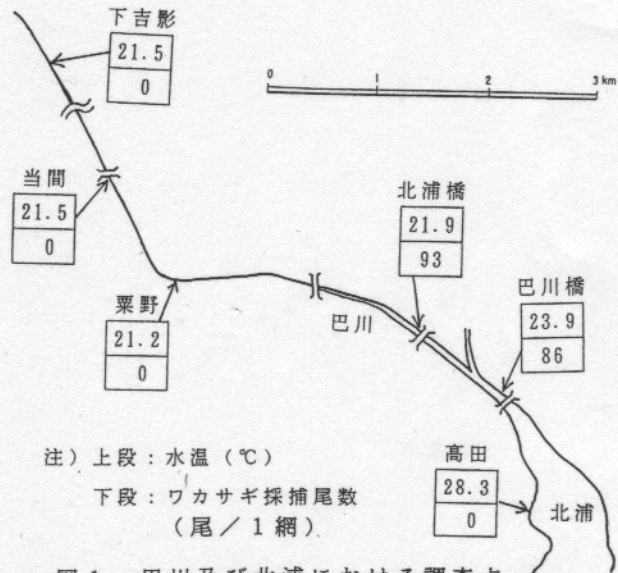
また、巴川橋より約1km下流の銚田町高田の北浦でも同様に投網を行いました。モツゴ、ブルーギル等がまとまって捕獲されたものの、ワカサギは1尾も採捕されませんでした。これより、河口付近にワカサギが特異的に優先して分布していたと考えられます。

この時の巴川の水温は北浦橋までが21℃台で巴川橋が23.9℃、銚田町高田の北浦では28.3℃でした。つまり、巴川と北浦の水温は約8℃もの差があったこととなります。

ワカサギは高水温には弱い魚で、夏の高水温期にはあまり餌も食べず、成長も悪いようです。この様な時期には、霞ヶ浦北浦のワカサギのうち、水温の低い流入河川の河口域に入り込む群があります。

巴川河口付近でワカサギ釣りをしていた人に聞いたところ、8月下旬の今頃までもワカサギが釣れることは珍しいそうです。今年は梅雨明け以降の暑さが厳しく夏期の高水温期が例年より長く続いているためでしょうか（図2）。

なお、今回巴川で採捕されたワカサギの体長は平均5.3cmで北浦のトロール漁獲物（平均6.0cm）より小さい結果でした（図3）。



注) 上段: 水温 (°C)
下段: ワカサギ採捕尾数 (尾/1網)

図1 巴川及び北浦における調査点

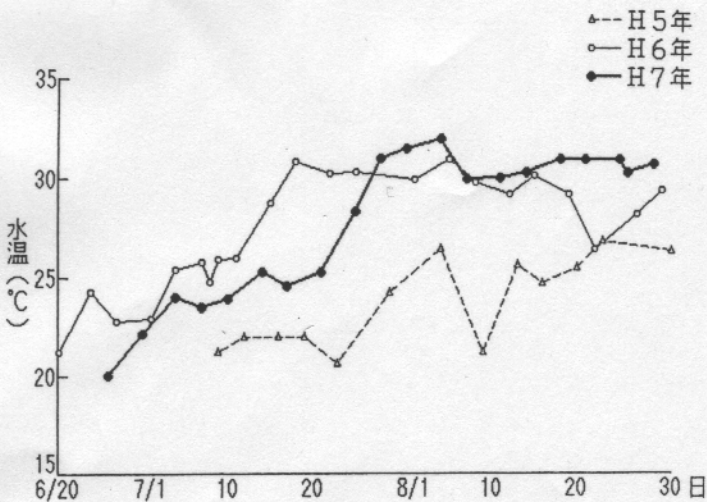


図2 北浦の夏期表層水温 (大洋村梶山)

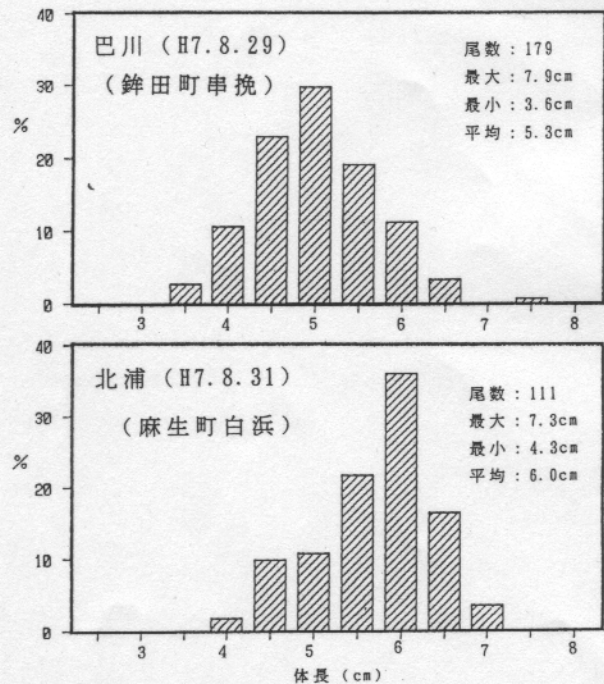


図3 巴川河口と北浦のワカサギの体長組成